

### ● 平成27年度 / 会費納入者一覧

平成27年4月1日～平成27年10月31日 現在

|              |              |              |              |              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 昭和16年 橋本 彰夫  | 昭和26年 佐々木 清水 | 昭和31年 伊勢 諒吾  | 昭和34年 山田 僖子  | 昭和38年 千葉 邦雄  | 昭和40年 山田 義昭  | 昭和43年 佐藤 元英  | 昭和49年 長谷川 高  |
| 昭和17年 園部 俊雄  | 昭和26年 戸澤 弘明  | 昭和31年 大本 香津子 | 昭和35年 梅崎 克己  | 昭和38年 湯澤 邦彦  | 昭和41年 板澤 幸雄  | 昭和43年 田村 慶則  | 昭和49年 松井 利一  |
| 昭和20年 小玉 保次  | 昭和26年 那波 直司  | 昭和31年 佐々木 行  | 昭和35年 高橋 紀男  | 昭和39年 明石 貞一郎 | 昭和41年 大槻 幸一郎 | 昭和44年 五代儀 俊悦 | 昭和50年 網千 博文  |
| 昭和20年 佐藤 多   | 昭和27年 石山 喜章  | 昭和31年 佐藤 公隆  | 昭和35年 吹浦 忠正  | 昭和39年 阿部 信泰  | 昭和41年 加藤 貢   | 昭和44年 老松 秀明  | 昭和50年 服部 忠信  |
| 昭和20年 清水 高義  | 昭和27年 加藤 明男  | 昭和31年 高橋 壽夫  | 昭和36年 伊藤 則昭  | 昭和39年 伊藤 博道  | 昭和41年 佐藤 和夫  | 昭和45年 東海林 和彦 | 昭和52年 鈴木 久彰  |
| 昭和20年 田添 達夫  | 昭和27年 坂本 則卓  | 昭和31年 高橋 文夫  | 昭和36年 柏木 征彦  | 昭和39年 大澤 健   | 昭和41年 佐藤 茂範  | 昭和46年 佐々木 孝子 | 昭和52年 寺門 日出男 |
| 昭和21年 江見 正民  | 昭和27年 佐々木 長雄 | 昭和31年 中川 信夫  | 昭和36年 笹岡 靖正  | 昭和39年 佐々木 重明 | 昭和41年 猿谷 彰   | 昭和46年 藤川 長敏  | 昭和53年 石井 清明  |
| 昭和21年 加藤 日出男 | 昭和27年 高橋 恒雄  | 昭和31年 中村 啓一  | 昭和36年 嶋貫 邦夫  | 昭和39年 佐藤 二郎  | 昭和41年 成田 憲明  | 昭和47年 加賀谷 博史 | 昭和54年 小柳 宏   |
| 昭和21年 那小屋 豊  | 昭和27年 三矢 慶三  | 昭和31年 原田 善治  | 昭和36年 須磨 洋次郎 | 昭和39年 進藤 晃男  | 昭和41年 堀内 一志  | 昭和47年 鎌田 進   | 昭和54年 齋藤 頼太郎 |
| 昭和22年 加藤 三朋  | 昭和27年 宮田 徹   | 昭和31年 町田 睿   | 昭和36年 西野 義久  | 昭和39年 鈴木 真理子 | 昭和41年 緑川 稔秀  | 昭和47年 佐々 誠一  | 昭和54年 佐藤 克有  |
| 昭和22年 金沢 祐吉  | 昭和28年 増田 善彦  | 昭和32年 男鹿谷 和美 | 昭和36年 船木 茂   | 昭和39年 高橋 理輔  | 昭和42年 大野 省治  | 昭和47年 中谷 多佳子 | 昭和54年 吉田 朝子  |
| 昭和23年 明石 康   | 昭和29年 井上 昭則  | 昭和32年 小柳 輝芳  | 昭和36年 町田 侃   | 昭和39年 高村 國男  | 昭和42年 大森 正高  | 昭和47年 三澤 英一郎 | 昭和55年 有路 直樹  |
| 昭和23年 小野寺 正周 | 昭和29年 白滝 一紀  | 昭和32年 二木 芳郎  | 昭和36年 松岡 直昭  | 昭和39年 原田 幸雄  | 昭和42年 川口 公作  | 昭和47年 目黒 卓   | 昭和58年 青山 卯女  |
| 昭和23年 吉川 武弘  | 昭和29年 武藤 實   | 昭和32年 松田 祥男  | 昭和36年 村山 公士  | 昭和39年 安田 恭子  | 昭和42年 清水 光雄  | 昭和48年 石川 俊明  | 昭和58年 阿部 充   |
| 昭和23年 菅原 寛治  | 昭和30年 秋山 文平  | 昭和33年 今野 昭   | 昭和36年 渡邊 東   | 昭和40年 岡本 宣子  | 昭和42年 田村 信次  | 昭和48年 大橋 朗   | 昭和58年 内山 華奈  |
| 昭和23年 星野 恒雄  | 昭和30年 安達 俊幸  | 昭和33年 熊谷 光太郎 | 昭和37年 伊藤 清信  | 昭和40年 小沼 武敏  | 昭和42年 畑山 康幸  | 昭和48年 金澤 尚武  | 昭和58年 工藤 亨   |
| 昭和25年 荒井 献   | 昭和30年 大塚 正民  | 昭和34年 板倉 義雄  | 昭和37年 宇佐美 征喜 | 昭和40年 加藤 弘次  | 昭和42年 平澤 規雄  | 昭和48年 斎藤 正範  | 昭和58年 渡部 雄大  |
| 昭和25年 神 泰雄   | 昭和30年 佐藤 敬幸  | 昭和34年 小沢 暁民  | 昭和37年 柴田 捷司  | 昭和40年 鎌田 政朋  | 昭和42年 宮腰 良一  | 昭和48年 榊 純一   | 昭和59年 伊保谷 徹  |
| 昭和25年 菊池 巖   | 昭和30年 澤瀉 明   | 昭和34年 桑原 裕子  | 昭和37年 寺門 広輝  | 昭和40年 河田 章   | 昭和42年 吉村 和就  | 昭和49年 嘉藤 芳樹  | 昭和59年 佐々木 良枝 |
| 昭和25年 中崎 致和  | 昭和30年 薄田 耕二  | 昭和34年 佐藤 宏二  | 昭和37年 渡部 宏   | 昭和40年 佐藤 三郎  | 昭和43年 小柳 清光  | 昭和49年 白石 好   | 昭和59年 渡部 博   |
| 昭和26年 五十嵐 泰弘 | 昭和30年 船木 孝雄  | 昭和34年 佐藤 紀英  | 昭和38年 伊藤 博康  | 昭和40年 中西 祥子  | 昭和43年 神坂 光   | 昭和49年 田口 博   | 昭和60年 西尾 薫   |
| 昭和26年 伊藤 隆   | 昭和30年 松沢 研二  | 昭和34年 高橋 恒松  | 昭和38年 佐々木 博章 | 昭和40年 橋本 五郎  | 昭和43年 小島 良子  | 昭和49年 武田 啓介  | 昭和62年 齊藤 敬   |
| 昭和26年 小熊 巖   | 昭和31年 相場 三郎  | 昭和34年 武藤 良孝  | 昭和38年 武田 義之  | 昭和40年 矢尾 牧夫  | 昭和43年 佐々木 博和 | 昭和49年 館山 英昌  | 平成04年 佐藤 健太郎 |

平成09年 神谷 了  
平成10年 三浦 茂樹

ご協力に感謝いたします

#### 会費納入のお願い

本会の運営は、会員の皆さんからの会費によって支えられております。毎年度の会費の納入をよろしくお願いいたします。このページには本年度の会費納入者を掲載しております。会費が未納の方は、**本会報同封の郵便振込用紙にて、年会費3,000円のお振込みをお願い致します。**今年度会費納付済み方に重複して振込用紙が同封されている場合は、申し訳ありませんが、破棄してください。郵便局の口座番号は次のとおりです。

00150-0-353596  
「秋田高校東京同窓会」

### ● 同窓会本部事務局だより

本部事務局長 佐藤 英明 S46卒

今年は、同窓会設立100周年という大きな節目を迎え、総会に併せ御祝いの会を催したところ、東京同窓会からの参加も含め300名を超える多数の同窓生を迎え盛大に挙行できました。予想を大幅に超える人数で不手際も多々ありましたが、ご容赦下さい。

ところで、秋田県の人口は、私が小学生の頃、昭和30年代後半には、133万人だった記憶が残っています。秋田県の人口はそのあたりをピークに減少傾向と成り、ここ数年は毎年約1万人強の減少となっています。直近の数字(9月1日現在)では、102万4千人です。2年以内には100万人の舞台を割り、2040年には70万人を割ると言われています。

秋田県でも、様々な施策を講じていますが、我が同窓会もこの現状に黙ってられないということで、先の総会で会則の変更を行いました。同窓会の目的を、今までの「会員相互の親睦を図り、母校の発展に尽くす」に、「郷土の創生に尽くす」の文言を加えました。これにともない、「郷土創生特別委員会」の設置がなされ、一回目の委員会を開催し、同窓会として何ができるかの論議が始まっています。

なお、秋田県の施策の一つに「シニア人材招聘事業」が検討されており、その実施に向けた予備調査の協力要請が同窓会にありました。(担当者は同窓生)同窓会員名簿からの抽出で、東京同窓会の一部の方にアンケート依頼が届いていると思いますが、ご協力方よろしく申し上げます。

### ● 幹事長だより

東京同窓会幹事長 鎌田 進 S47卒

今年一年もいろいろな出来事がありました。

9月には大雨が降り「鬼怒川」が決壊し茨城県常総市に大きな被害をもたらしました。仙台市でも「吉田川」が氾濫しました。去年は御嶽山が噴火し今年箱根山や阿蘇山が噴火しました。海外ではヨーロッパに多くの難民がなだれ込みました。イスラム国の勢力が増してきています。テロの脅威が全世界的になってきました。安保法案が喧々譁々の中やっと成立しました。日本でも徴兵制が始まり戦争が起きるなどとマスコミが喧伝しています。マスコミを鵜呑みにせず自らしっかり判断しましょう。また、マイナンバー制度が始まり皆さんにも通知カードが送られてきたことと思います。来年から税務署等に書類を提出するときはその番号を記載する必要があります。どんどん国に個人資産が管理されていく社会が見えてきています。

そんな中、ノーベル賞を2人も受賞しました。大村智さんと梶田隆章さんです。素晴らしい人がこの日本にいることを誇りに感じます。

来年1月に東京同窓会は例年通り賀詞交歓会を行います。多くの方と楽しいひと時を過ごしたいと思います。是非ご参加ください。